



城南區在住ノMさんの住まい  
ゆるやかにつながり合う空間  
どこにいても家族はひとつ

表から観ると窓も少ない四角い建物。でも中に一歩入るとのびのびと明るくてキモチのいい空間が広がっている。3つのフロアがゆるやかにつながるMさんの住まい。どこにいても、家族はいつもひとつだ。



玄関でにこやかに迎えてくれたMさん一家の足元は、みんな裸足だ。「わが家は、二棟まるごと暖房だから冬でもこうなんですよ」とご主人。すべすべの床はヒノキの無垢材。ベタベタと軽快な足音から、足の裏のキモチよさが伝わってくる。



幼い頃からマンション暮らしには縁がなかったMさん夫妻。それぞれに、家族で暮らすなら二戸建てと考えていたので、結婚とはほぼ同時にふたりの住まいづくりは始まった。雑誌を通して知った「建築プラン

ナー」は家族で経営している点と話しやすいスタッフの人柄、一軒一軒の施工に寄せる情熱が契約の決め手になったという。「ここなら何でも相談できる」。秀開氣的にびたっと合った。スタッフを信じて、土地探しから手伝ってほしいと依頼した。四角い土地の三方向を他の建物



バルコニーへ続く階段からリビングを眺めた様子。どのフロアも床はヒノキの床材で統一されているため、すっきりとまとまった印象



光に包まれたダイニングスペース。家の隅々へ隅々まで長く確保された小さな窓があり、ここを開放することで優しい風が吹きぬける



広々としたバルコニー。中学校の教師であるMさん、顧問を務めるクラブの部員を兼ねてここでバーベキューをすることも



理想にかなう家は必ず建てられると力強く言ってくれたので、思い切つて決められたんだと思います。車2台分を取納できるインナーガレージ。大勢でバーベキューができるスペース。家族と会話しながら調理ができるアイランドキッチン。全体的に明るくて狭さを感じない住まいにしたい。厳しかな、と思うような要望も思いつくまま細かく伝えた。そうして完成したのが中2階を含めて3つのフロアを持つこの住まいである。暮らしのメインフロアとなるリビング・ダイニングとキッチンは最上階に。見上げると大きなガラス窓が確保されており、その向こうにはバーベキューもできる広々としたバルコニーになっている。室内は一日中自然の光に満たされているが、表から家の中はまったく見えない。プライバシーを守ってくれる構造。もちろんインナーガレージもアイランドキッチンも、注文通り。

「都会のなかで窓を閉め切った生活はしたくないと思っていましたから、最上階にガラス窓を設けたこのプランはとても気に入っています。窓の面積が予想以上に広くて、リビングから上を眺めたときの開放感がとても気持ちいいんです。」



私の  
好きな  
場所

【アイランドキッチン】

バルコニーに向かって設けられたアイランドキッチンは奥様のお気に入り。「中2階にある子ども部屋の様子までよく見えるので、料理中も安心なんです。料理のレパートリーも広がり「家で食事をすることが楽しみで」とご主人もにっこり